



# 太陽と大のなかよし戸沢の子

## 「読書好きな子どもに育てたいなあ」

学校長 村田 紳

私事ですが、私は読書が大好きです。そして、戸沢小の朝の時間の図書室で見かけるこんな風景がとても好きです。

図書委員が本を借りる役目をしっかりしてくれます。好きな本に没頭する子もいます。



先日、文化庁から令和5年度「国語に関する世論調査」の結果が公表されました。

ニュース等でご存じの方もおられると思いますが、「もふもふ」や「まったり」といった言い方が認知されたり、「悲喜こもごも」などの意味の捉え方に変化が見られたりするなど、時代とともに、「言葉」の内容が変化していました。なかでも気になったのは、「一か月に読む本の冊数」を問う設問です。「読まない」が6割に達していました。「読書量が減っている」と変化を感じている方も7割おられ、その理由は「情報機器で時間が取られる」という回答が一番多かったです。

そもそも「なぜ読書をすすめるのか」端的に考えてみると以下の4点でしょうか。

- 1 語彙力、文章力が養われる
- 2 教養や知識が身につく
- 3 人生を豊かにする知恵を得られる
- 4 想像力が豊かになる



こう考えてみると、最近は「電子書籍の利用」も増え、一概に本の冊数や紙媒体の本に頼らない読書の形もみられます。

私は、「感動が記憶として心に残っていくような読書をしてほしいな。自分の目と手と足で読みたい本を探して、一冊を選び、紙の質感にふれ、その重さ、厚さを感じながら、ページを辿っていく感覚を大切にしてほしいな。」と考えています。

読書シティむらやま宣言の中にも「本を読むことは感性を豊かにし、表現力を高め、考える力と生きる力を私たちに与えてくれます」と伝えていきます。

戸沢小の親子読書の期間が始まります。(9月20日～9月29日)

子ども達が選んだ本の世界と一緒に入り、「まったり」と話し合う機会になればと思います。

## 普段の授業の様子から



9月20日（金）に読み聞かせボランティアでご指導いただいた先生方です。

子ども達は読み聞かせの日を楽しみに待っています。「今日はどんなお話しかなあ。」と目をキラキラさせて待っています。

発達段階にあった本の選び方や読み方、雰囲気、場の作り方は、私たち教師が学ぶべきところがたくさんあります。



### 【地域の皆さん、保護者の皆さんへの感謝】

過日、下校中の子どもが転んで、怪我をした事案がありました。その際、地域の方から手当をしていただいたり、通りかかった保護者の方から学校まで手当のために搬送いただいたりと助けていただきました。また、地域の方から登校路にスズメバチの巣があることと駆除依頼をしていることを教えていただきました。

戸沢地区の皆様は、当たり前のように子どもを見守ってくださることに感謝しかありません。本当にありがとうございます。